

**慢性閉塞性肺疾患への呼気圧負荷トレーニングに対する
運動療法の上乗せ効果
-多施設無作為化コントロール比較試験-EPT-ET-study
COPD患者さまが少しでも
息切れなく動けるようになるための臨床研究です。**



呼気圧負荷トレーニング用の器具

COPD患者さまへのご案内

- 吸入薬を使用しているにも拘わらず、息切れでしっかり動けなくなっていないませんか？
- そんな、不調を解消できる上気道のトレーニングを含む臨床試験(中等症、重症、最重症のCOPD患者さまが対象)のご案内です！

ご参加頂くための基準

1. COPDと診断された、中等症 重症 最重症の患者さま
2. 医師が安定していると判断し、心肺機能検査が行える患者さま
3. 患者自身による文書で同意を得られた患者さま
4. 40歳以上、83歳以下の患者さま

施設責任医師: 徳島県鳴門病院 三木真理
ご興味のある方、是非、ご相談ください。

日本学術振興会科学研究費助成事業(科研費)基盤研究C(21K11307)②021-2023年度
第10回 杉浦記念財団医療助成 2021年度
公益財団法人 鈴木謙三記念医科学応用研究財団 2023年度助成

臨床試験実施施設
独立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター
徳島県鳴門病院
公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院

慢性閉塞性肺疾患への呼気圧負荷トレーニングに対する運動療法の上乗せ効果 -多施設無作為化コントロール比較試験 -EPT-ET-study

科研 基盤研究C(21K11307) 2021-2023年度
杉浦記念財団医療助成 2021年度
鈴木謙三記念医科学応用研究財団 2023年度助成

対象疾患: COPD II III IV

選択基準

1. COPDと診断された、GOLD)分類のII~IV期
2. 医師が安定していると判断し、心肺機能検査を十分に行える患者さま
3. 患者自身による文書で同意を得られた患者さま
4. 40歳以上、83歳以下の患者

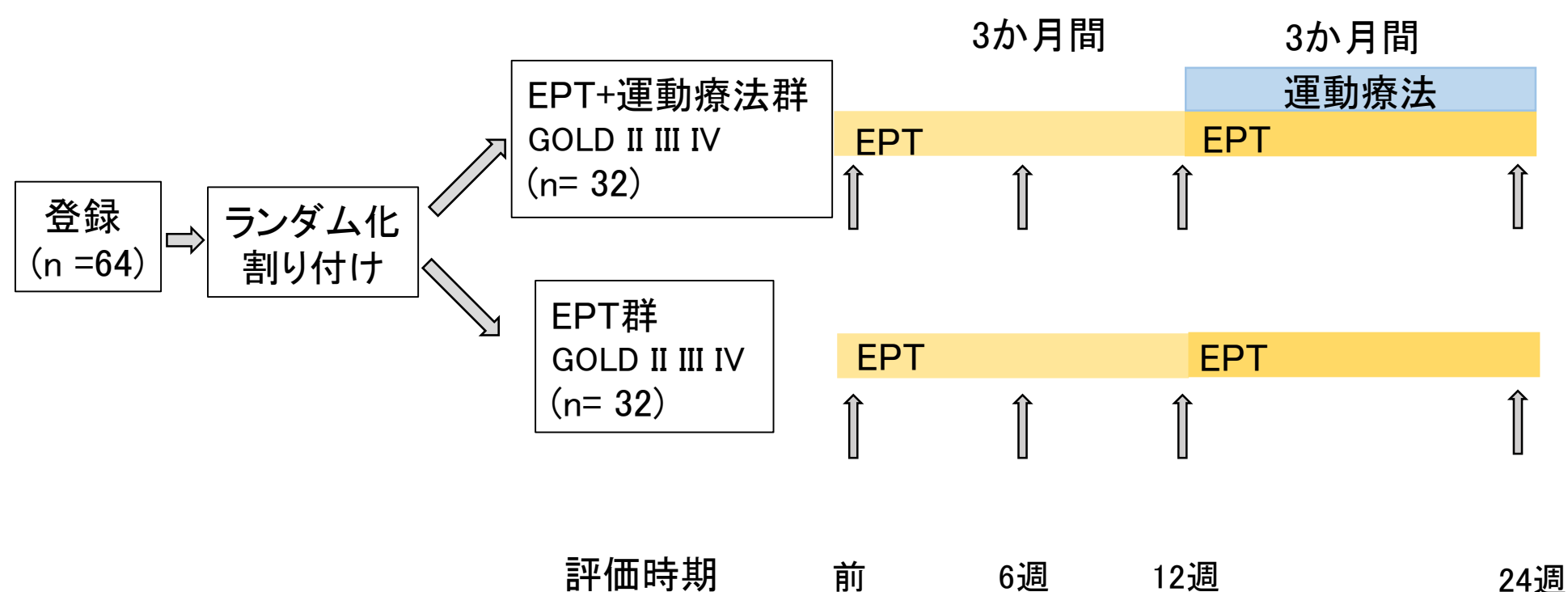
安定とは、試験開始から遡り1ヵ月以内、COPD患者の症状に急激な悪化が無く、薬剂量や薬剤の内容も一定している場合を安定とします。

除外基準

1. 悪性腫瘍を有する患者
(但し、治療後、5年経過し再発のない患者は除外基準に含めず)
2. 活動性の感染症を有する患者
3. 重篤な心疾患を有する患者
4. 気管支喘息を有する患者
5. 臨床試験中に薬剤の変更が行われた患者
6. 呼吸器リハビリテーションを受けている患者
7. 労作時に酸素療法が必要な患者
8. 気胸歴のある患者もしくは巨大ぶらをもつ気胸のリスクが高い患者
9. その他、担当医師が不相当と判断した患者

試験デザイン

多施設無作為化コントロール比較試験



EPT: 呼気圧負荷トレーニング